

令和7年度 学校経営全体計画

長岡京市立長法寺小学校

< 教育理念 >

一人一人が社会に参画し、人権尊重を基盤として、共に支え合いながら、地域社会の一員としての役割を果たすため、見通しを持って主体的で創造性ある心豊かな人間形成を目指す。
育みたい5つの力：気づく力、のばす力、挑戦する力、つながる力、展望する力

< 校訓 >

楽信の心（わくわく挑戦！つながり高め合う）

責任・自主・勤勉・敬愛

< 学校教育目標 >

豊かな心でたくましく生きる力を身に付け、自ら考え、正しく判断し、行動できる児童の育成

< 目指す学校像 >

- らしさ輝く学校
お互いのよさや可能性が引き出される学校
- みんなで創る学校～
子どもが楽しいと思える学校 Wellbeing

「4つのあ」
あいさつ、ありがとう、
あせをかく、あったか

< 育てたい児童像 >

校訓	責任	あきらめず取り組み、 責任感 をもって 粘り強く取り組む子（高学年が手本）
	自主	自分が「主体者」となり進んで学んだり積極的に挑戦したりする子
	勤勉	学習や係活動、掃除など、真面目に 「 一生懸命 」に取り組む子
	敬愛	人権意識や道徳的実践力が高まり、 自分や友達を大切にする子

地域と共に歩み、伸びる学校

- *一人一人の存在が際立つ教育
- *子供が学びの主体者となる教育

< 目指す教師像 >

- 主体的に行動し**、当事者意識を持つ
～すべての教育活動を背負っているという自覚と責任～
- 教職員の**協働性**を高める
～対話を大切にして、信頼関係に裏打ちされたチームワークを構築～
- 時代の変化に対応する
～**研究と修養**を積む～
- 凡事徹底**
～当たり前のことを当たり前に行う～

学校経営方針	1 確かな学力の育成 2 豊かな人間性と多様性の尊重 3 健康の増進と体力の向上 4 保護者・地域から信頼される学校づくり・社会に開かれた教育課程の実現	「対話」を通して、育む！
学校経営の重点	1 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させるとともに、「主体的・対話的で深い学び」を充実させ、確かな学力の育成を図る。 (1) 学習課題やめあてを明確にした「できた、わかった授業」の構築と基礎・基本の定着 ⇒授業改善と個別補充学習等の充実、学力・学習状況調査などの分析と活用。 (2) 主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり ⇒対話に焦点を当てた授業や単元構想を計画的・意図的に実施・公開・共有 (3) 言語活動や読書活動の内容を充実 ⇒らくしんタイムの有効活用、図書館教育で培ってきた取組を発展させる。 (4) ICTの積極的な活用による個別最適な学びと協働的な学びの推進	
	2 教育活動全般を人権の視点から振り返るとともに、いのちを大切にし、思いやりのある豊かな心と多様性を尊重する心を育てる。 (1) あいさつ・感謝や思いやりが自然にできる。一人一人の児童の思いや願いが実現できる。 ⇒4つの「あ」学級経営の根底に置く。人権感覚をみがく。（率先垂範） (2) いじめを許さない「居心地のよい」学級づくり (3) あらゆる教育活動でユニバーサルデザインを意識した指導と特別支援教育の充実 (4) 3機能を生かした生徒指導の充実、不登校未然防止・早期対応の教育相談を充実 (5) 教職員の人権問題についての認識と指導力の向上 ⇒研修会の充実と自己研鑽	
	3 運動への興味・関心を高め、児童の健康や心身の向上を図る。 (1) 早寝・早起き・朝ごはん・くつそろえ等の習慣化 (2) ルールを守り、友だちと仲良く外で元気に遊ぶ児童の育成⇒遊び時間を確保 (3) 朝の健康観察で、心の状態の変化に目を向ける。⇒心の健康アプリ活用	
	4 歴史と伝統を継承するとともに、児童、保護者、地域との信頼関係を構築する。 (1) ホームページ、スクリレを活用し、学校だより、学年だより等の積極的な発信による開かれた学校づくりの推進、授業参観等での学校公開 (2) 迅速で丁寧な保護者対応の実施⇒連絡帳より電話、電話より家庭訪問をする。 (3) 積極的な地域連携・社会貢献の推進⇒地域コミュニティ協議会や関係機関と連携	
	5 教職員のゆとりとより豊かな教育環境づくり (1) 子供と向き合う時間を確保するための業務改善、交換授業、外部講師や出前授業の活用 (2) 働きやすい環境となっているか定期的な振り返り・Wellbeing 未来にフォーカス	